

（1）第14回 第7次NACCS合同作業部会の 結果報告



2022年8月18日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

1. 第14回 第7次NACCS合同作業部会でのご意見

項番	議題	項目	意見・要望等	検討内容（回答）
1			<p>（意見） 当案件について、東京通関業会成田支部の幹事会社の幹事会で各社の意見を伺った結果、これまで出ていた懸念事項について、幹事会社の9割の会社が同じ懸念を持っていた。荷主様の意向が強ければ、導入については致し方なく、通関業者各社が輸入者様との個別対応をせざるを得ないとの意見に基本的には纏まった。導入に際して、当案件の設定をご利用される輸入者様には、利用されている通関業者に説明の上、開始していただくと混乱がないかと考える。</p>	<p>輸出入者様にご説明の上、提案通り進めさせていただきます。</p>
2	3	納付書情報等出力先の改善 <2>	<p>（要望） 納付書の出力順など詳細な仕様について具体的に確認したい。航空だけ利用している輸入者様から代表通関業者に設定された場合、どのような作業が発生するのか把握したい。</p>	<p>確認の上、ご回答させていただきます</p>
3			<p>（意見）（WG後） 納付書情報等出力先の改善に関して提案ありがとうございました。弊社としても懸念はありません。 輸入者からの強い要望があるところまでの議論のなかで理解しましたので、今後輸入者から問い合わせを受ける機会も増えると思われるので、システムの仕様の共有を前広に実施いただきますようお願いいたします。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 提案の通り進めさせていただきます。</p>

1. 第14回 第7次NACCS合同作業部会でのご意見

項番	議題	項目	意見・要望等	検討内容（回答）
4			<p>（要望）（WG後） データベースが異なるかもしれませんが、SPDが出ているB/LについてCHR業務がされた時にも通知が来ると助かります。</p>	<p>対応可否を含め、検討いたします。</p>
5	4	貨物状況通知サービスの提供<2>	<p>（意見）（WG後） 1. 「搬入後に搬入通知を入力すると通知が永遠に来ない懸念がある」→「通知契機を逸している」をエラーではなくワーニングにすればセンターさんの懸念は解決出来ると思います。 問題は、搬入と許可で通知が欲しい等の場合に、入力時に搬入済だった場合エラーで入力出来ないのが困るという事です。 2. 「なお、ご要望例において、項番17変更案イメージでも搬入の通知済日時を出力する事は出来かねます」→ICG業務と同じ事ロジックを使えば表示は可能だと思いますが如何でしょうか？ 例えば、現在のICG業務で輸入許可になった場合、搬入日が過去の事として表示されないのであればそうかと思いますが、表示されているのですから。</p>	<p>対応可否を含め、検討いたします。</p>
6			<p>（要望）（WG後） 海貨業者様からフリータイム延長の電話を受けることが多いので、『FTR』業務も通知契機業務の候補に加えてほしい。</p>	<p>対応可否を含め、検討いたします。</p>

1. 第14回 第7次NACCS合同作業部会でのご意見

項番	議題	項目	意見・要望等	検討内容（回答）
7	4	貨物状況通知サービスの提供<2>	<p>（要望）（WG後）</p> <p>①輸入貨物情報訂正（SAI）業務による貨物情報の訂正時を通知契機に要望したが、対応できないとの回答であった。しかしながら航空の通知契機業務にはCAIが入っており、海上のSAIと航空のCAIは同じ内容の業務と理解しているが、CAIは対応可能で、SAIの対応ができない理由を確認させていただきたい。 ※AIR NACCSでは可能だが、SEA NACCSでは非対応という業務はなくして頂きたい。</p> <p>②当該業務は当然だがICG・IAWとの関連性が非常に強い。保税地域に搬入されたという通知を受け取りたい場合にはICG・IAWで搬入されていない事を確認したうえ『貨物状況通知サービス』登録する事となる。 また、『貨物状況通知サービス』の通知を受け取った場合、次にICG・IAWを行う事が予想される。 →『貨物状況通知サービス』送信の際は、ICG・IAW結果画面から『貨物状況通知サービス』に送信できるようにする。 →『貨物状況通知サービス』の結果通知の際は、『貨物状況通知サービス』の登録時にチェックボックスにチェックをしたら通知結果を返す際に、同時にICG・IAWの結果を送り返すような事を検討頂けないか？</p>	<p>①航空のCAI業務については、個数訂正を行い全量到着での突合状態となった際に、搬入の旨の通知を行う事となります。</p> <p>②対応可否を含め、検討いたします。</p>

1. 第14回 第7次NACCS合同作業部会でのご意見

項番	議題	項目	意見・要望等	検討内容（回答）
8	5	第7次NACCSにおけるWebNACCSの改善	（質問） ICG業務やICN業務等スマートフォンで確認できるとのことだが、確認の仕方はWebNACCSを使用して確認するという認識でよいか。	ご認識の通りです。
9			（質問） 現在、WebNACCS利用の資格はないが、利用に際しては新たに申し込むことになるか。	netNACCSをご利用いただければ、WebNACCSもご利用いただけます。
10			（意見）（WG後） WebNACCS業務について検討頂いていますこととても有難いと思います。ただ、本件アクセス方法がモバイルだけに特化したような説明に疑問があります。本件、モバイル利用と同時にPCでのNACCSへの接続も是非願いたいと要望していたはずです。輸出入者がWebNACCS業務を実施する際に、モバイルで行うというものはありえず、業務用のPCでの利用が前提となります。PCでの利用を端折ることなく説明の中に入れて頂くことを強く要望します。	モバイルだけでなく、これまで通り、PCでもWebNACCSは利用可能です。今後のご説明の際には、いただいたご意見を踏まえ、説明内容を見直させていただきます。
11	6	第1回海上入出港業務SWG結果報告	意見無し	提案の通り進めさせていただきます。
12	7	厚生労働省 検疫案件（海上入出港業務）	意見無し	提案の通り進めさせていただきます。
13	-	その他	（意見）（WG後） 直接議題にはございませんが、質問です。他のプラットフォーム、トレードワルツ、サイバーポートとの接続について、可能な範囲で知りたいです。（今後も引き続き知りたいです。）理由の一つとしては、例えば、他のプラットフォームからの接続により、実質的に、NACCS端末が増加できるメリット等があると思われる為です。	他の案件と同様に、検討の上、準備が出来次第、WGにてご提示させていただきます予定としております。

2. 第14回 第7次NACCS合同作業部会「議題2 税関関係業務の検討について」のご意見

項番	議題	項目	意見・要望等	検討内容（税関回答）
1			<p>（質問）（WG後） AMA業務の入力を1件の当初申告に紐付ける件、事後調査を受けての同一案件複数申告を修正する場合へ実務的な影響について伺えればと思います。</p>	<p>当初申告毎にAMA/AMC業務を行う必要があるため、業務件数が増加することが想定されます。</p>
2	2	税関関係業務の検討について	<p>（意見）（WG後） 修正申告の審査業務効率化 呼び出しや税額の自動計算などは入力業務の軽減につながるため是非引き続き検討をお願いします。一方で事後一件の当初申告毎に行う場合にはHAWB番号の入力欄を設けることも想定されていますか？ 調査等の修正申告書を作成する場合、一件の当初申告毎に作成すると同じ内容の共通部分を複数回入力することを防ぐため、DLI02で呼び出しをかけますが、その後の入力時に呼び出し項目としてHAWBがフィールドに存在していると通関業者としては対査確認がよりしやすくなると想定します。ご検討ください。</p>	<p>入力項目については検討中です。ご意見については参考とさせていただきます。</p>
3			<p>（質問）（WG後） 項番9の「納期限延長に係るリアルタイム口座対応」に関して、包括納期限延長を利用した申告について、リアルタイム口座振替による納付を可能とするところがあるが、これは毎月8日に出力される一括納付書情報出力のタイミングで、一括納付書ではなく、申告時に登録されていたリアルタイム口座から自動振替されるという仕様でしょうか？ 現行の納期限延長に係るMPN支払のデータフローと同じでしょうか？ (MPNの場合は、一括納付書の代わりに納付番号通知情報が出力される仕様かと思えます。)</p>	<p>現在検討中の事項となりますので、方針が決まりましたら、合同作業部会等においてご提示させていただく予定です。</p>

2. 第14回 第7次NACCS合同作業部会「議題2 税関関係業務の検討について」のご意見

項番	議題	項目	意見・要望等	検討内容（税関回答）
4	2	税関関係業務の検討について	<p>（意見）（WG後） 納期限延長に係るリアルタイム口座対応について 納期限延長制度を利用した申告の納付にリアルタイム口座を使用する事を可能とする検討がなされているが、この運用をした場合でも引き続き納付書などは輸入者に通関業者から提供する必要はあるのでしょうか？ そのあたりの事務効率化も含めた改修になっていればありがたいところです。</p>	<p>頂戴したご意見については参考とさせていただきます。</p>
5			<p>（意見）（WG後） システムで対応すべき内容なのか制度見直しを考えるべき内容か議論が必要ではないかと感じます。</p>	<p>頂戴したご意見については参考とさせていただきます。</p>
6			<p>（意見）（WG後） 今後も、システムで対応できる業務を増やしていただくようお願いいたします。</p>	<p>頂戴したご意見については参考とさせていただきます。</p>
7			<p>（意見）（WG後） 第三回WGで検討している新規業務新設で記載のATAカルネの通関のシステム化や輸入別送品申告のシステム化などは税関関係業務の検討とは別の場での検討となりますでしょうか？</p>	<p>実施可否を含め検討の上、WG等で提示させていただく予定です。</p>

3. WGへの検討課題提案状況

別紙_WGへの検討課題提案状況を参照

4. サブワーキングの開催状況

別紙_サブワーキングの開催状況を参照